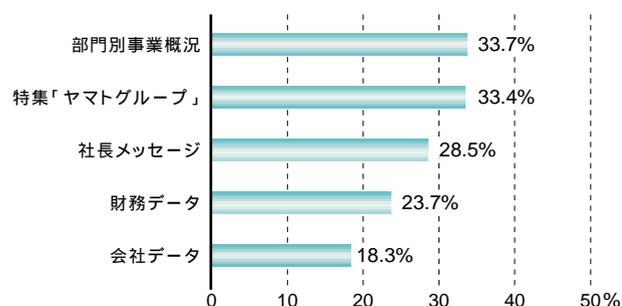


株主の皆さまに聞く

第139期(平成16年3月期)中間事業報告書にて、アンケート調査を実施

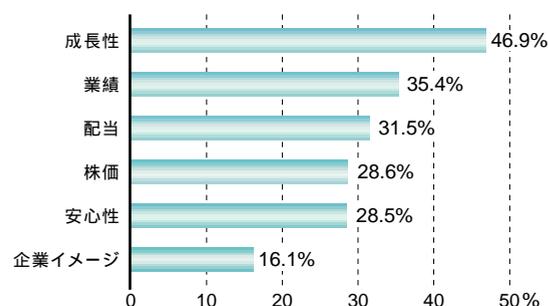
当社が前回、株主の皆さまにアンケート調査を実施して以来6年が経過しました。この間に社会情勢も大きく変動し、当社事業を取り巻く経済環境も、急激な構造変化を迎えています。当社では、あらためて株主の皆さまの実像を分析し、皆さまの関心事について把握することを目的として、第139期中間事業報告書におきまして、アンケートを送付させていただきました。皆さまからは多数のご回答並びに貴重なご意見を賜りました。ここに主なアンケート結果をご報告いたしますとともに、御礼を申し上げます。

中間事業報告書で興味を持った記事(複数回答)



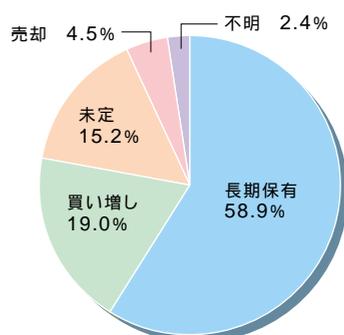
業績報告に加えて、会社の成長戦略をメッセージとしてお伝えする部分にご興味を持たれていることが明確になりました。

ヤマト運輸の株式投資の際に重視するポイント(複数回答)

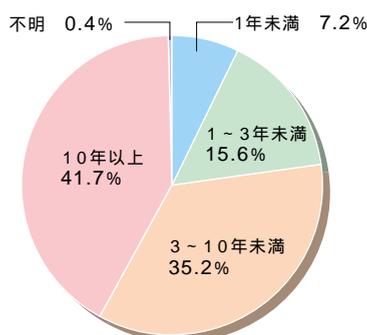


前回の調査では、成長性を重視して株式を購入される方が8割を占めていました。今回の調査でも成長性重視の傾向は変わりませんが、全体に占める割合が低減し、「成長株」としての位置づけに変化のあることがわかりました。

今後のヤマト運輸の株式保有の見通し



ヤマト運輸の株式保有年数



ヤマト運輸の株式については長期に保有していただいております。今後も継続して保有することを選択される傾向が見られました。

アンケートでは、「利益が下がっている。改善して欲しい」など業績に対する懸念を示されるご意見もいただきました。当社では、社長メッセージ、特集で紹介いたしましたように“ヤマトグループ新生進化3か年計画”を推進し、事業構造改革に全力で取り組んでいます。現在、改革に必要な投資活動に伴い、費用が増大する局面を迎えています。当社では、この時期を速やかに乗り越えて基盤整備を図り、将来にわたる持続的な成長を目指してまいります。株主の皆さまには、何卒ご理解とご支援を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

株主還元策につきましても、株主優待制度の設置をはじめ、さまざまなご提言をいただきました。当139期(平成16年3月期)も増配を行い、株主還元の強化を行っておりますが、今後も将来の事業展開に備えた内部留保との関係を総合的に判断しつつ、株主の皆さまへの還元に向きに取り組んでまいります。

当社では、これからも当事業報告書を株主の皆さまとの重要なコミュニケーションの場として、事業方針や活動内容をよりわかりやすく掲載していくよう努めていく所存です。